

和風会講演会開催の御案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、この度下記要領にて「和風会講演会」を開催させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。 謹白

日時：2017年9月8日(金) 18:30～20:30

会場：千里阪急ホテル 東館2階「仙寿の間」

大阪府豊中市新千里東町2-1 Tel 06-6872-2211

～Program～

【一般講演】 18:30～19:00

座長 田中 稔久 先生

(大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 准教授)

演者 京谷 京子 先生

(京谷クリニック 院長)

「精神科診療所から見た不眠症治療のトレンド」

【特別講演】 19:00～20:30

座長 池田 学 先生

(大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 / 熊本大学 客員教授)

演者 上野 修一 先生

(愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座 教授)

「和風会と愛大精神科」

※会終了後に、情報交換会を予定しております。

※先生ご自身の交通費を、弊社にて実費負担させていただく場合がございます。その際は弊社より、ご施設や共催機関等のルールに則り、個別にご相談させていただきますので宜しく お願い致します。

共催：大阪大学精神医学教室同窓会・和風会 / MSD 株式会社

【特別講演：要旨上野 修一先生（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座 教授）

愛媛大学医学部は、昭和48年10月にスタートし、現在の教室は、神経精神医学講座として昭和50年4月に、大阪大学医学部精神医学期講座出身の初代柿本泰男教授の着任により立ち上がった。それ以降、平成8年には、二代目田邊敬貴教授とお二人の和風会出身の先生に支えられ、平成20年からは私が主宰させていただき、現在に至っている。これまでも、多くの和風会の先生方に直接、間接的にご指導を頂いているが、現在の愛媛大学精神神経科学講座の研究、教育、臨床について、和風会との関連について考えると、

1. 神経化学について 私は昭和60年の卒業だが、佐野勇先生に薫陶を受けられた初代柿本教授、三宅正治先生（機器センター助教授、後に神戸学院大学教授）の厳しい指導のもと、アミノ酸やジペプチドの単離及び生体内分布の決定、タンパク質の精製や特徴の決定など臨床教室とは思えない基礎的な研究で学位を得た。その後は、佐野勇教授のご子息佐野輝先生（現鹿児島大学精神機能学教授）とともに精神疾患に関連する遺伝子の発見にも関わらせていただいた。現在は、私が大学院時代に行った研究をもとに、集団を対象とした解析や動物モデルを用いた分子医学的解析として発展している。
2. 老年精神医学について 平成8年に赴任された田邊教授は、症候学に基づいた神経心理研究の第一人者であり、認知症を中心に症例研究に加え、愛媛県中山町（現 伊予市）の65歳以上の全住民を対象とした疫学研究を、池田学助教授（現大阪大学精神医学教授）と開始された。この研究は、我々の教室員によって継続されており、現在、画像や神経化学と組み合わせた生物学的解析研究としてさらに視野を広げている。
3. 児童青年期精神医学について 初代柿本教授とともに赴任された金澤彰助教授は、児童青年期精神医学も専門とされ、多くの教室員を指導いただいた。その流れは現在まで続いており、「子どものこころセンター」として小児科と一緒に活動している。研究においても、児童を対象とした調査研究から小児への新規薬物作用の解析までと進めている。

と強いつながりを感じる。加えて、和風会のHPには、「和風会には、全国80大学のうち64大学以上の出身者から入会があります。」と記載されているが、我々愛媛大学医学部卒業生も多数加わっており、今後ますます連携を強めていきたいと感じている。

【会場アクセス】

